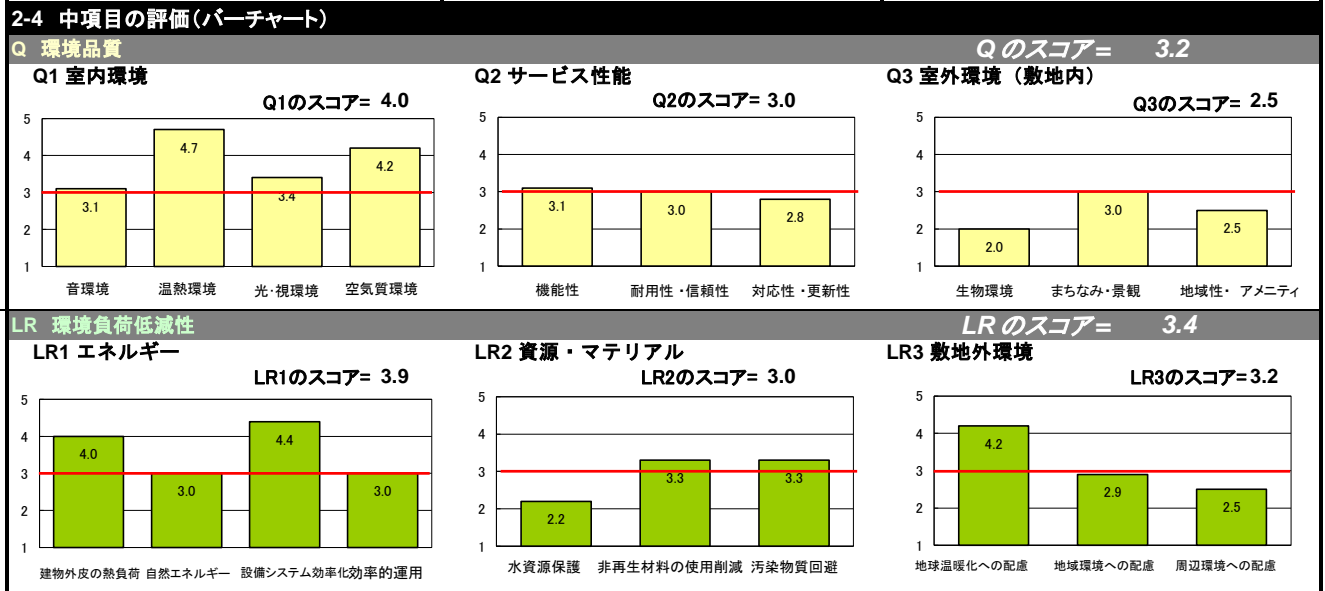
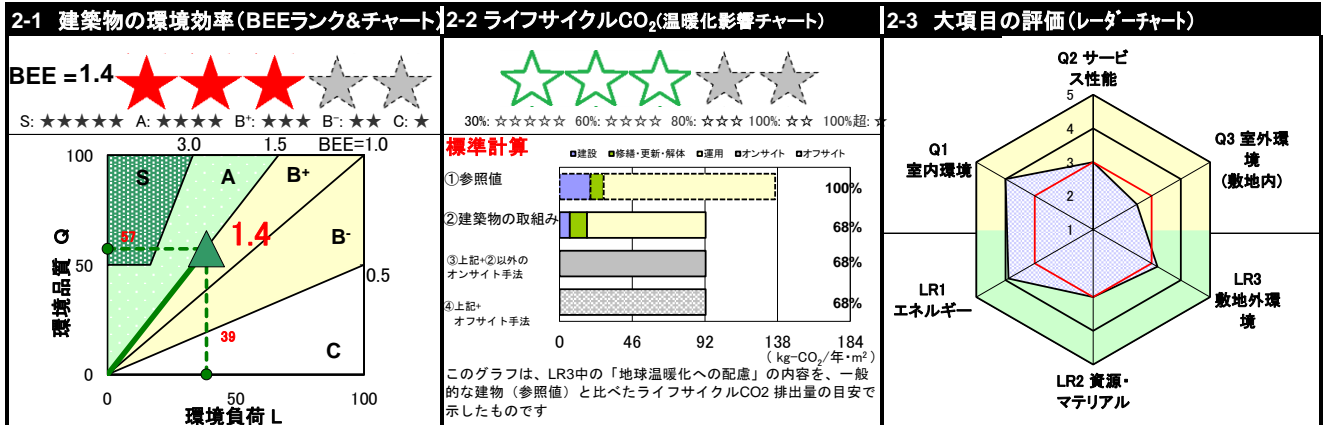


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	オハナ橋本	階数	地上10F
建設地	相模原市緑区西橋本一丁目1167番1	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	427 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年1月7日
敷地面積	4,556 m ²	作成者	㈱長谷工エコーポレーション
建築面積	1,497 m ²	確認日	
延床面積	9,924 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合 住宅用途らしいアースカラー系の外壁色や、近接する建物との調和を意識した外観とし、街並みに配慮した。周囲への圧迫感の軽減のため、道路から後退した住棟配置とし、アルミ手摺やマリオンを用いて建物全体をいくつかに分け、周囲の街並みとのスケールの調和を図った。		その他
Q1 室内環境 ・住戸はバルコニーを計画し、カーテンレールを設置している。 ・F☆☆☆☆・VOCの放出が極めて少ない部材を採用。	Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。 ・各住戸に電話、CATV、インターネット対応の回線を引き込む計画。 ・入居者が多目的に利用できる集客室を共用施設として計画。 ・共用部の給水管にステンレス鋼管を採用し耐久性の向上を図っている。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地外周の道路沿いには、公開性のある歩道上空道を設け、地域の賑わいに配慮する。 ・自治体の景観計画に適合した彩色とした。
LR1 エネルギー ・断熱等級4取得予定。	LR2 資源・マテリアル ・解体時におけるリサイクルを促進する対策として、二重天井、二重壁の採用。 ・和室棟にダン模を採用する。	LR3 敷地外環境 ・自治体の緑化基準を上回る緑化に努めた。 ・自治体の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される